

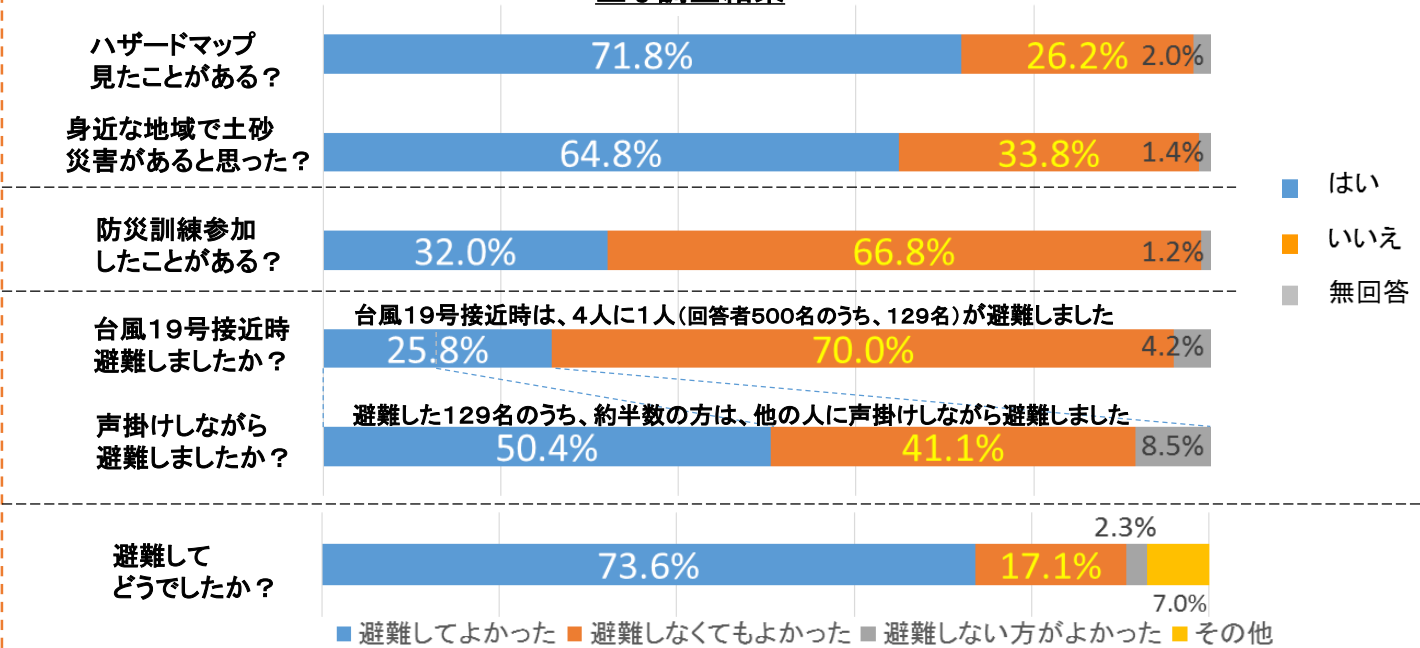
令和元年東日本台風 土砂災害時の警戒避難に関する 住民アンケート調査結果概要

土砂災害を経験した住民、関係機関の皆様の防災意識や災害時の行動から見えた「三つの備え」の大切さ

アンケート調査の概要

- ◎調査目的 令和元年東日本台風における土砂災害発生地域に居住する住民の事前の備えや防災意識・災害時の行動を調査・検証し、「防災意識向上の取組」に活かすため、住民アンケート調査を実施
- ◎対象地域 上田市、佐久市、佐久穂町、長和町、筑北村の土砂災害発生地区（土砂災害による人的被害は無し）
- ◎調査方法 令和2年3月から4月、家屋被害を伴う土砂災害発生地域に居住する世帯に調査票を配布、郵送による回収。また、防災担当者へのヒアリングを実施、回答結果を集計・分析
- ◎配布・回収数 配布数：1248件、回収数：500件（回収率40.1%）

主な調査結果



【調査結果まとめ】

ハザードマップの認知度や内容の理解は高いが、防災訓練や講習会等への参加率は低い。実際に避難した方は約26%（4人に1人）であり、その理由には「危険を感じた」とともに「近所の人等に声を掛けられたから」との回答も多かった。いざという時に危険から身を守る方法を身につけるため、防災訓練や講習会等に積極的に参加し、防災意識と地域での共助の力を高めていくことが重要。

土砂災害から、いのちを守るためには

- ① 自分のいる場所の危険を知る
- ② 危険から身を守る方法を考える
- ③ 避難は声を掛け合って

三つの備えが肝心！

防災訓練や
講習会に参加しましょう！

「三つの備え」を支援する事業を推進します。

- ・地区防災マップ作成支援（地区毎のマップ作成と地区での防災訓練を支援）
- ・赤牛先生派遣事業（砂防ボランティアによる地域での防災教育事業）
- ・ハザードマップWeb化（信州くらしのマップ、ハザードマップポータルサイト）